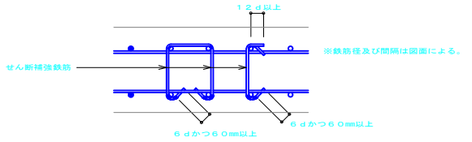
３．２３　せん断補強鉄筋

３．２３．１　底版、床版

（１）底版、床版のせん断補強要領は３．２３．１図及び３．２３．３図による。

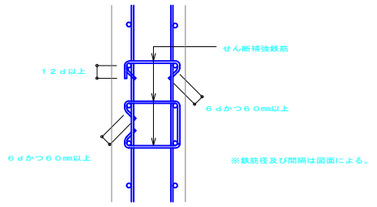


断 面 図

３．２３．１図　底版、床版のせん断補強要領図

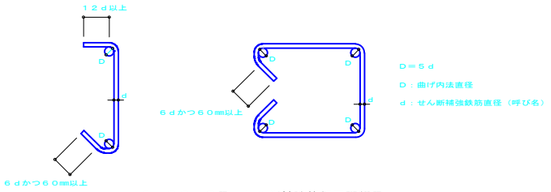
３．２３．２　壁

（１）壁のせん断補強要領は３．２３．２図及び３．２３．３図による。



断 面 図

３．２３．２図　壁のせん断補強要領図



３．２３．３図　せん断補強筋加工要領図

３．２４　杭基礎の補強

３．２４．１　一般事項

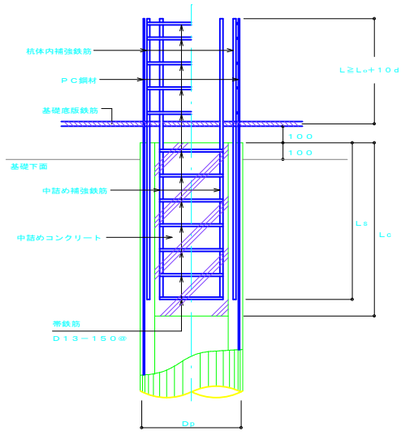
（１）補強鉄筋にＳＤ３９０またはＳＤ４９０を用いる場合、中詰めコンクリート及び補強鉄筋が定着する基礎底版コンクリートの設計基準強度を３０Ｎ/㎟以上とする。

（２）鉄筋種別、径・本数は、図面による。

（３）杭基礎の補強鉄筋の定着長Ｌｏは、主筋の材質がＳＤ３４５およびＳＤ３９０では３５ｄ以上、ＳＤ４９０では４１ｄ以上とする。

（４）杭頭補強鉄筋が底版厚より長くなる場合は、３．２４．６図による。

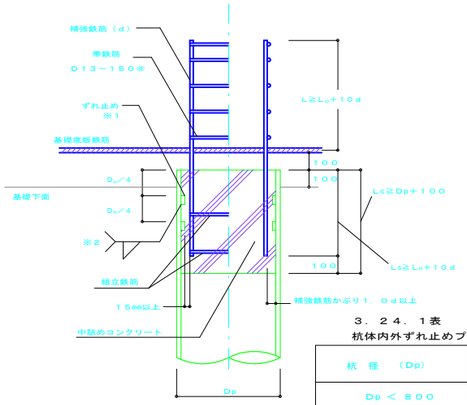
（５）杭体内補強鉄筋は必要に応じ配置する。



杭頭処理形態		Ｔｙｐｅ　Ｂ
カットオフする場合	鉄筋	Ls≧５０φ＋Lo＋１０d
	コンクリート	Lc≧２．５Dp＋１００、かつ５０φ＋Lo＋１０d＋（かぶり１００）
カットオフしない場合	鉄筋	Ls≧Lo＋１０d
	コンクリート	Lc≧２．５Dp＋１００、かつLo＋１０d＋（かぶり１００）

注１．φは、ＰＣ鋼材径とする。

３．２４．１図　ＰＨＣ杭の杭頭補強



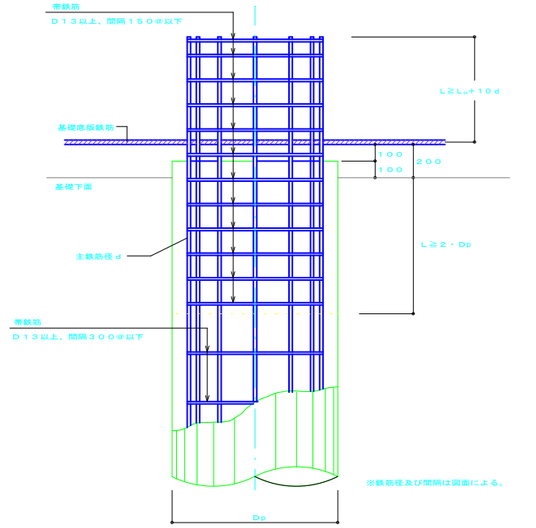
※１：ずれ止めの大きさは、３．２４．１表による。
※２：全周現場すみ肉溶接

３．２４．１表
杭体内外ずれ止めプレートの肉厚

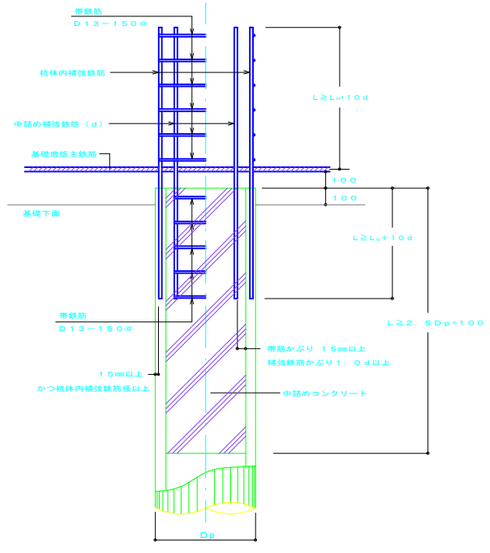
杭　径　（Dp）	ずれ止め厚さ
Dp ＜ ８００	９
８００≦ Dp ＜１２００	１２
１２００≦ Dp ＜１５００	１６

※材質はＳＳ４００

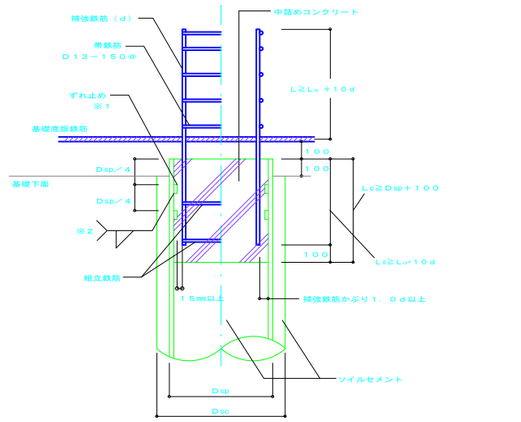
３．２４．２図　鋼管杭の杭頭補強



３．２４．３図　場所打ち杭の杭頭補強

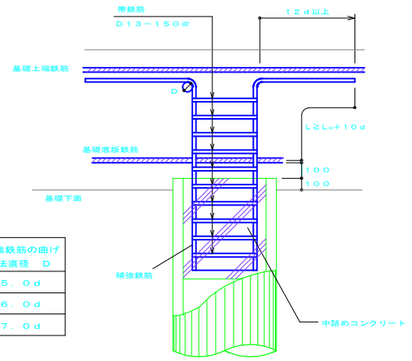


３．２４．４図　ＳＣ杭の杭頭補強



※１：ずれ止めの大きさは、３．２４．１表による。
※２：全周現場すみ肉溶接

３．２４．５図　鋼管ソイルセメント杭の杭頭補強



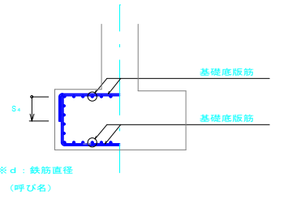
鉄筋種別	補強鉄筋の曲げ内法直径　D
ＳＤ３４５	５．０d
ＳＤ３９０	６．０d
ＳＤ４９０	７．０d

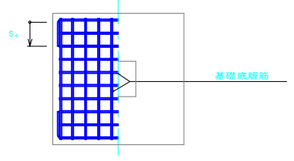
３．２４．６図　杭頭補強筋が底版厚より長くなる場合の杭頭補強

３．２５　独立基礎の補強

３．２５．１　フーチングの補強

（１）補強方法は図面による。

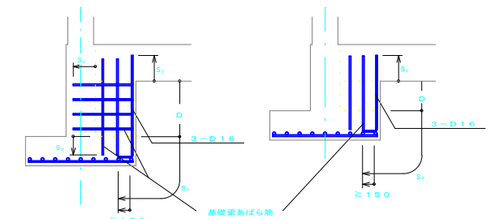




３．２５．１図　独立基礎の補強配筋

（２）基礎底版筋の配筋は、図面による。

３．２５．２　基礎接合部の補強



※壁厚ならびに配筋は図面による。

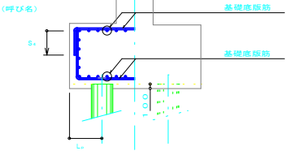
３．２５．２図　基礎接合部の補強配筋

３．２５．３　杭基礎の場合のフーチング配筋方法

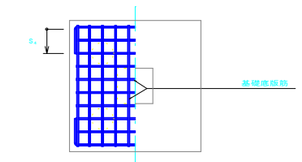
（１）杭基礎の場合のフーチング配筋方法は、３．２５．３図とする。

（２）杭頭処理の方法は、３．２４項に基づくものとする。

（３）杭芯とフーチング外端面との距離（Ｌｐ）は、場所打杭、打込み杭、埋め込み杭は１．０Ｄ（Ｄは杭径）以上とする。



断 面 図



平 面 図

３．２５．３図　杭基礎の場合のフーチング配筋方法

事業名	南魚沼市上水道事業				
工事名	令和2年度　改良第7号 上田配水池建設工事				
施工地名	南魚沼市 蟹沢新田 地内				
構造細目共通図（複合構造物）（6）		縮尺	図示		
図面番号	第50/61号	工期	着手日 令和　年　月　日		
			竣工日 令和　年　月　日		
発注者	南魚沼市長	監督員	総括 水道課 上村 栄二 主任 水道課 上村 優		
請負者		検査員	（配管）		